

万博国際交流プログラム 企画運営業務委託公募型プロポーザル方式にかかる質問と回答について

No.	質問要旨		回答
1	実施要領6	応募書類はUSB メモリでの提出も可能か。	書き換え、削除等のリスクを低減するため、CD-Rでのご提出をお願いしています。
2	仕様書3	プログラム全体を通じた生徒に得てほしい経験や学びは何か。	プログラム参加者には、座学だけでなくディスカッションやフィールドワークを通じて積極的に会話・交流し、両国の文化や環境の違いを学ぶことで国際感覚を養っていただきたいと考えています。また、より良い未来を創るため、環境課題に対して自分たちができることの提案と行動変容にも繋げたいです。
3	仕様書3(1)①	オンライン交流で扱いたいテーマやディスカッションの粒度。	以下のような内容を想定しています。 ・交友を深めるためのアイスブレイク ・世界のごみ問題と両国のごみの現状について学習 生活の中で感じる課題と改善のためのディスカッション ・CO2排出量と脱炭素の取組みについて学習 脱炭素のために自分達ができることのワークショップ ※上記はあくまで例示です。 受託者からの提案を踏まえ、協議のうえで最終決定します。
4	仕様書3(1)②	対面交流にて見学・学習する環境施設等や市内団体の想定はあるか。	CO2削減に取り組む団体による体験学習や、ごみ処理場の見学などを検討しています。 効果的な学習実施が見込める事業者等の提案があればお願いいたします。
5	仕様書3(1)②	成果発表で中学生に発表いただきたい内容の粒度。	以下のような内容を想定しています。 ・両国の環境問題に関する気づき(共通点、相違点) ・これまでの学習を通じて得た学び ・より良い未来を創るために自分ができること、目標設定 ・プログラムに参加してみての感想 ※上記はあくまで例示です。 受託者からの提案を踏まえ、協議のうえで最終決定します。
6	仕様書3(1)②	オンライン交流では、米国・サンマテオ市の生徒がオンラインで参加するため、豊中市の中学生も全員がオンラインで入室したほうが生徒の没入感が高まり、学習効果が高くなると思われる。仕様書には「場所 市内会場」と記載されているが、オンライン参加・オンライン運営サポートとさせていただくことは可能か。	豊中市の参加者については、個人の通信環境に依存しない確実な実施、子ども同士の交流促進などを理由に、学校の授業のように一堂に集い、数人で端末を共有しての実施を想定しています。しかし、過去の実績や今回の提案内容から、個別でのオンライン参加がより有意義かつ効果的である場合は、相談のうえ決定させていただきます。 受託者の参加については、運営上支障がなければオンラインでも問題ございません。
7	仕様書3(3)②	米国・サンマテオ市の中学生の日本語力はどの程度の想定か。選考において、日本語力を判断基準の1つとしているか。	選考基準に語学力(英語力・日本語力)は含まれないため、サンマテオ市の参加者は日本語をほとんど話せない、聞き取れない学生が多数になることを想定しています。
8	仕様書3(3)④	仕様書記載「業務にかかる受託者の食費や万博会場入場料を含む旅費等は全て本業務の委託料に含むこととする。」について、豊中市や米国・サンマテオ市の中学生の食費・万博会場入場料を含む旅費等は委託費と別で計上されているということか。	お見込みのとおりです。 プログラム参加者の食費、旅費(万博会場入場料含む)等の必要経費は別途当市で負担いたします。